



# 真中便り

【校訓】 自主・自愛・自省

2025. 2. 28 No.11  
厚岸町立真龍中学校  
発行責任者 福田 英明



欠席連絡用  
QRコードです

※電話連絡の場合は  
8:10以降に!

# 3月の行事予定

## 「深く考え行動するということ」

校長 福田 英明

今年は雪が少ないなあと、思っていたところに大雪が降って、北海道の冬はやっぱり厳しい、ということを感じた2月でした。3年生は、進路実現に向かって突き進んでいます。1・2年生も学年のまとめに勤しんでいます。次のステージの始まり「春」まで、あと少しです。

さて、先日、1・2年生の総合的な学習の時間で取り組んでいた探求学習の発表を見ました。また、3年生が総合的な学習の時間に作成していた卒業論文も読ませてもらいました。今年度から力を入れている探求学習の総まとめとして、各学年とも素晴らしい発表ばかりでした。

今、学校は大きく変わっています。昔の授業スタイルは、教師が一方的に説明し、生徒は黙って聞いて黒板に書かれたことをノートに写して授業中に覚える、というものでした。これは、工場でマニュアル通りに動いて、製品を大量生産させる労働者を育成するのに合わせた教育方法でした。国内に工場がたくさんあって、製品を洪水のように世界に輸出していたバブル期までの時代ではこれで良かったのです。

しかし、今はデジタル社会でもあります。実態のないものを商品とすることも一般化しています。新しい価値を見つけて商品化するためには、今までの常識に疑問を持ち、多面的・多角的に考える力が必要になってきます。知識だけを覚えても何の役にもなりません。なぜなら、スマホで調べれば何でも教えてくれるのですから。

したがって、これからの時代は、そのスマホが教えてくれた情報がフェイクなのか正しいのかを考えられる「批判的思考力」と、筋道を立てて考え、結論を出す「論理的思考力」が必要なのです。

今、真龍中学校では、「なぜ○○なのだろう」「本当に○○なのか」と、「批判的思考力」を使って深掘りすることで各教科の見方・考え方を身につける授業に取り組んでいます。

この時、考えたことを深めるために大切なのは、多くの人の考えに触れることです。自分の考えを他の人に伝え、他の人の考えを聞くことで、自分の考えが正しいと判断すれば確証を得、違っていると判断すれば修正していく。この行程を繰り返すことで新しく習ったことを覚え、理解できるようになります。

さらに、物事や現象を、いろいろな側面や特徴(多面的)からや、見たり考えたりするいろいろな角度や視点(多角的)から考えることで、自分の考えに深まりを生ませるようにしています。

また、自分の考えを他人にわかりやすく説明するためには、原因と結果の関係(因果関係)を整理し順序立てて考える「論理的思考力」が必要になります。

このように、知識を獲得するだけならスマホで調べれば十分ですが、知識を使って物事を深く考えるにはたくさんの人と交流することが必要になるのです。学校が必要な理由はこのためなのです。真龍中学校では、R80という手法を使って、「論理的思考力」を育成しています。

幕末、長州藩で松下村塾を開き、明治維新で活躍した志士たちに多大な影響を与えたのが吉田松陰です。吉田松陰に教えを受けたのは、高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文、前原一誠、品川弥二郎、山田顕義らです。山県有朋や桂小五郎(木戸孝允)も弟子だったというのですから、明治維新の礎を築いたと言っても過言ではないでしょう。

吉田松陰の教育は弟子に一方的に教えるのではなく、弟子と議論を交わしたり、一緒に登山や水泳をやるなど、今、真龍中学校で取り組んでいる教育に似ています。

その吉田松陰が残した言葉に次のようなものがあります。

**「努力して後悔した人は一度も見たことないが、努力をしないで後悔した人は腐るほど、この目で見してきた」**  
**「何かをして変わった人はいても、何もしないで変わった人は絶対にいない」**  
**「練習して下手になる人はいない、勉強して馬鹿になる人もいない」**

吉田松陰は「志を立てるためには人と異なることを恐れてはならない」「世俗の意見に惑わされてはいけない」と、晩年には過激な行動を取るようになっていきます。しかし、その行動力は人々に影響を与え、やがて社会を変え、歴史を動かしていきました。

幕末と同じように、変化の激しい予測不可能な時代に生きる私たちも、深く考え行動に移すことが必要な時代となっているのではないのでしょうか。そんな大それた事、エライ人がやれよ、と思っている人へ、吉田松陰は次のようにも言っています。「草莽崛起(そうもうくつき)」意味は、在野の人(一般大衆)よ、立ち上がれ。真龍中学校は主体的な人財を世に送りたいです。

日	曜	行事予定	部活動	給食	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	バス
1	土											
2	日											
3	月		部活動休止日	○ ○ ○	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	* * *	13:30
4	火	公立高校学力検査日 ALT	部活動休止日	○ ○ ○	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	13:15 14:25
5	水	公立高校面接検査日		○ ○ ○	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	13:25 14:25 17:00
6	木	3年生を送るスポーツ大会(1&3年生・2~3時間目・ジャージ登校) 食育(3年生・4時間目) 図書館バス		○ ○ ○	1 2 3	○ ○ 学	○ ○ 学	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	13:15 14:25 17:00
7	金	3年生を送るスポーツ大会(2&3年生・3~4時間目・ジャージ登校) ALT SC		○ ○ ○	1 2 3	○ ○ 学	○ ○ 学	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	13:15 14:25 17:00
8	土											
9	日											
10	月	思春期講座(3年生・3~4時間目)		○ ○ ○	1 2 3	○ 学 ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	学 学 ○	* * *	13:30 16:00 13:15
11	火	公立高校追検査日 武修館高校合格発表日 ALT		○ ○ ○	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	16:00 13:30
12	水		部活動休止日	○ ○ ○	1 2 3	○ ○ 学	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	13:30
13	木	同窓会入会式(3年生・1時間目) 卒業式総練習(全学年・2~3時間目) 準備(1&2年生・4時間目)	部活動休止日	○ ○ ○	1 2 3	○ ○ 行	○ ○ 行	○ ○ 行	○ ○ 行	○ ○ 行	* * *	13:15
14	金	卒業証書授与式 ALT 定時退勤日	部活動休止日	× × ×	1 2 3	行 学 学	行 行 行	行 行 行	行 行 行	行 行 行	* * *	12:00
15	土											
16	日											
17	月	公立高校合格発表日		○ ○ ×	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	学 学 ○	* * *	13:30 16:00 13:15
18	火	意見発表会(4時間目・体育館) ALT		○ ○ ○	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	16:00 13:30
19	水	図書館バス		○ ○ ×	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	* * *	16:00
20	木	春分の日										
21	金	大掃除(ジャージ登校) 二次募集出願受付(~24日) ALT		○ ○ ×	1 2 3	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	行 行 ○	* * *	13:15 16:00
22	土	姉妹都市交流事業 出発(~29日)										
23	日											
24	月	修了式・離任式 定時退勤日	部活動休止日	× × ×	1 2 3	行 行 学	学 学 学	* * *	* * *	* * *	* * *	10:45
25	火	学年末休業(~31日)										
26	水											
27	木	二次募集合格発表										
28	金											
29	土											
30	日											
31	月											

1時間目 修了式+離任式  
2時間目 学活(通知表)  
教室移動  
10:45 総下校(下校バス)

# もうすぐ中学生！

2月21日（金）、新入生体験入学を実施しました。始めて中学校に足を踏み入れた子が多かった6年生でしたが、どの子もとてつとわくわくした表情で中学校に来てくれました。中学校生活についての話を聞いたり、中学生の授業を参観したり、中学校の先生による授業体験をしたりと、多くのことを学ぶ体験ができたのではないかと思います。見られている中学生にもほどよい緊張感が流れ、お互いに充実した時間になりました。



# 総合的な学習の時間



今年度の総合的な学習の時間は、『探究的な学び』を意識して取り組んできました。自ら課題を設定し、情報を集め、それらを整理・分析し、まとめて表現するというサイクルの学習です。1年生は個人で、2年生はゼミを作り、それぞれ探究してきた成果をスライドにまとめて発表しました。3年生は一人一人が卒業論文を作成しましたが、背景を意識した課題設定、根拠をもった情報収集など、どの生徒も力のこもった論文を作成しました。探究的な学びは生徒の主体性を育みます。先行きが不透明な現代において、主体的に生きていくための力を身に付けることは大変重要です。今後も、自ら道を切り開くことのできる生徒の育成を目指していきます。



令和6年度 総合的な学習の時間 探究学習 論文集 研究テーマ一覧

研究テーマ	研究テーマ
1 トラックドライバーが減少していくのはなぜ？	17 『国旗の色や模様は人にとってどのようなイメージをもたらすのか』
2 鮭の良い釣り方	18 強豪校の演奏のレベルがある理由
3 人間の集中力	19 なぜ今のジャンプはあまり売れていないのか
4 何故プロサッカー選手はあんなに上手いプレーが出来るのか？	20 ヒット曲とカノン進行の関係
5 北海道日本ハムファイターズの優勝する条件	21 どうしたら人は死ぬのか
6 イメージから見る『効率的な良い学習法』	22 大東亜戦争とは
7 アニメの設定	23 AIと社会について
8 見た目からいざ印象の違い	24 ファッションのトレンド
9 サークルを速く走るためのチューニング	25 ペットを飼っている人と飼っていない人の違い
10 人はVRでどんなゲームを遊びたいのだろうか	26 ハリー・ポッターの魅力
11 なぜ人々は新たな職業を生み出し続けるのだろうか	27 なぜアラートはあんなに音なのか
12 一流アスリートとは	28 『なぜ人は夢を見るのか』
13 宇宙人が信じられている理由	29 ニギビができない創作
14 なぜ日本人サッカー選手が以前より海外移籍しやすくなったのか	30 人に最も影響を与えているものはなにか
15 人はなぜゲームに依存するのか	31 なぜ海外では日本のアニメが人気？
16 なぜ人は騙されてしまうのか～監視の仕組み	

# 真中生の活躍！

【バドミントン】2月1日（土）（北見市）  
 ■第54回北海道バドミントン選手権大会  
 男子ダブルス 2年 平田凌太郎 金谷 依吹 出場



## 【作品応募】

2年生が国語の学習で取り組んで応募した「人権作文コンテスト」において、法務省人権擁護局より、感謝状をいただきました。



# ジャージが変わります

令和7年度新入生から、学校指定のジャージが変わります。これまで使っていたジャージが製造中止になったためです。ネイビーに赤ラインのジャージで、次の新入生の時にはラインの色を変えていく予定です。



# 4月の主な行事予定

- 7日（月）着任式・始業式・入学式
- 11日（金）学力テスト
- 17日（木）3年：全国学力・学習状況調査
  - ・新学期が始まってすぐにテストが続きます。毎日の学習を習慣化し、力を発揮してほしいです。
- 18日（金）授業参観・PTA 総会・学級懇談会
  - ・午前中に実施します。PTA 総会、学級懇談会（修学旅行や宿泊研修の説明等）もありますので、ぜひ、多くの保護者の皆様にご来校いただければと思います。